

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 学系別くくり募集を導入し、生徒のニーズに対応した教育を実践していますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	希望するコースに進めるよう、入学時からアンケートや個人面談等を実施し、きめ細かい指導を繰り返し行うことにより目標をしっかりと定めて学校生活を送れるようにします。	A	A	自分の学校が好きだと感じている生徒が90.7%と高く、引き続き、きめ細かい指導を徹底し、生徒が生き生きとした学校生活を送れるようにします。	A	A	希望するコースで、自分の得意な分野で活躍する生徒が多くいました。引き続き、生徒の主体的な学びを促す取り組みを積極的に取り入れていきます。
	2 生徒の主体的な学びを引き出す特色ある教育活動を行っていますか。	② 学系、コースの教育活動（ボランティア活動や校外清掃活動などの奉仕作業を含む）に対して、主体的に取り組めたと自己評価する生徒が80%以上である。 ③ 生徒が「学習や研究の成果を発表できる機会」を年1回以上設定し、それらの活動に達成感を持つ生徒が80%以上である。	地域社会の行事に積極的に参加させ、地域とかかわることにより、課題を見つけ出させ、解決方法を考えさせ、解決に結びつけます。 学習成果発表会や、課題研究発表会などを全校で実施し、かつ、校外の発表会などにも積極的に参加させ、生徒のプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高めるよう支援します。	A	A	積極的に取り組む生徒を、広報や表彰などをとおして評価し、自己肯定感を高めるとともに、消極的な生徒の意欲を喚起します。	A	B	ボランティア活動や校外清掃活動などに積極的に取り組んでいる生徒は69.7%であり、目標には達しませんでした。生徒は学校行事や部活動の一環として捉え、自主的な部分が不足しているようでした。今後は、活動の趣旨をきちんと説明して取り組みます。 学習成果発表会では、日ごろの学習活動を立派に発表する生徒が多く見られました。これからも、日常的に自分の学習を振り返り発表する機会を積極的に取り入れていきます。
	3 主体的な進路選択を実施するために、進路セミナーや職場見学を積極的に取り入れていますか。	④ 進路セミナーや企業又は上級学校の見学を実施し、進路意識が高まったと感じる生徒が80%以上である。	企業見学や学校見学を有効なものとするために、見学のための事前指導を行い、見学のポイントやワークシートなどを提供します。また、外部講師による進路セミナー等を実施し、進路意識の高揚をはかります。	A	A	進路意識が高まったと答える生徒が全校で93.0%であり、進路意識の向上が図られています。また、進路行事などで配布する資料も役立つと答える生徒が96.1%であり、今後も1～3年生の各段階で進路意識が高まるような進路ガイダンス等の計画を体系的に計画します。	A	A	外部講師などによる進路セミナーは生徒の進路意識向上及び進路選択に効果を受けています。今後も入学後の1年生の段階から、進路決定する3年生の各段階まで、体系的な計画立案を行います。 また、進路ノート(ファイル・ポートフォリオ)の充実を図ります。
	4 地元企業や地域と連携し学校外実習や体験学習を積極的に実施していますか。	⑤ 利根実版デュアルシステムや、長期現場実習、小中学校との交流活動・出前授業などに満足感を持つ生徒が80%以上である。	地域との連携を図り企業実習や農家実習を行います。また、地域の幼小中学校や特別支援学校等と交流を深め、徳育教育への取り組みや言語活動を意図的・計画的に取り入れていきます。	A	A	利根実版デュアルシステムを評価する生徒が97.4%であり、高く評価しています。長期現場実習は、地域の協力もあり計画的に実施することができました。また、幼・小・中学校等との交流や出前授業も計画的に取り組んできました。今後も継続して取り組んでいきます。	A	A	利根実版デュアルシステムを評価する生徒が98.5%、満足している保護者が93.5%と高水準です。幼小中学校との交流活動・出前授業も計画通り実施され、生徒の経験が高められていると高く評価されていますので、さらに充実した地域貢献活動にして参ります。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	5 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	⑥ 授業が理解でき、学習に対する満足感・達成感を持つ生徒が80%以上である。 ⑦ 日頃より、予習や復習に取り組む生徒が50%以上である。	多くの普通科目において、習熟度別学習、少人数学習、選択学習を導入し、生徒一人ひとりに指導の手が入りやすい授業を行います。また、授業展開で生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面を多く設定します。	A	A	協働的な学習やICTを活用した分かりやすい授業づくりに取り組んでいます。引き続き生徒が授業で学ぶ喜びを感じられるようにきめ細かい指導を続けます。	A	A	アクティブラーニングとICT活用について職員研修を重ね、授業改善に取り組む中で、授業に楽しそうに取り組む生徒が多く見られます。引き続き、生徒が主体的に学ぶ授業づくりの研修に取り組めます。
	6 資格取得に積極的に取り組んでいますか。	⑧ 各種検定や、資格取得に取り組む生徒が全校生徒の80%以上である。	学び直し学習や、学期ごとの基礎学力テストなどの企画・設定などにより、日頃から学習する習慣や態度を養います。	A	A	将来進路実現するためには必ず試験があることを認識させ、家庭学習の課題を工夫するなど、授業時間以外での学習習慣の定着を呼びかけていきます。	A	A	基礎学力の向上や家庭学習習慣の定着をめざすとともに、家庭での手伝いや校外での体験を自分の学びとして受け止め成長できるような指導を心がけます。
	7 組織的・継続的な生徒指導を行っていますか。	⑨ 問題行動で指導される生徒が前年度比の50%以下である。 ⑩ 不登校や転学者、退学者が前年比の50%以下である。 ⑪ いじめ発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	必須で検定に取り組んだり、積極的に受検者を募集し必要に応じ補習や補講を計画し合格への支援を行います。 週1回の学年会議、月1回の生徒指導会議を開催し、生徒の情報を共有し職員の共通理解を図ったうえで、一人ひとりの生徒に対応した段階的な指導を実施します。頭髪・服装指導は学年回を中心に徹底指導します。また、挨拶・身だしなみ・遅刻指導を中心に毎朝校門指導を実施し、改善が必要な生徒にはその場で指導します。 学習活動や学校行事、部活動等の一層の活性化を図り、生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面をより多く設定します。また、特別支援及び教育相談係の会議を定例化し生徒の情報を共有するとともに、特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを中心に問題を抱えた生徒を支援する体制を強化します。 いじめ防止対策係を中心に、いじめ問題の未然防止、早期発見・解消に向けて組織的に取り組みます。	A	A	進路実現という遠く大きな目標の達成のためには、検定や資格取得といった近く小さな目標を達成する必要性を認識させるとともに、更に指導体制を充実させます。	B	A	引き続き資格取得や検定に挑戦させ、自己肯定感の育成を図っていきます。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	8 生徒は規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫ 1カ年皆勤者が生徒数の40%以上である。	家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立を図ることで欠席、遅刻、早退を減少させます。	A	A	問題行動で指導される生徒は減少傾向にあります。今後も積極的な生徒指導を意識した未然防止策を検討し、実施します。	A	A	多くの先生方の協力により、問題行動は減少しました。今年度も学年主任と生徒指導主事の会議を実施し、情報を共有しながら生徒指導に取り組むことができました。今後も全職員が共通理解のもと生徒指導を進めていきます。
	9 生徒の健康状態に対する適切な指導を行っていますか。	⑬ 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査を受ける生徒が50%以上である。	各種検診の終了後、速やかに保護者あてに受診のすそめを配布し、生徒の受診を促します。	B	B	不登校や転学者、退学者は減少傾向にあります。今後も積極的な生徒指導を意識した未然防止策を検討し、実施します。	B	A	スクールカウンセラーのきめ細かい支援により、特別支援教育や教育相談は確実に実施されています。不登校・中途退学者も少なく、今後も情報交換を大切に早期対応を徹底します。
	10 充実した部活動が行われていますか。	⑭ 部活動に加入している生徒が80%以上で、その活動に満足している生徒が80%以上である。	掲示板の設置等で部員の増加に努め、週1回「部活動の日」を設け、職員が部活指導しやすい体制づくりに努めます。	A	A	三者面談・二者面談をとおして早めに情報を集め早期発見・早期解決に努めます。	A	A	今後も日常の生徒観察や年3回実施される生活アンケート結果、職員間の連携を密に行い情報を集め、早期発見・早期解決につとめ、解消率100%を目指します。
	11 3カ年を通して系統的で計画的な指導を行い、生徒の希望に則した進路実現ができましたか。	⑮ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。 ⑯ 就職希望者の90%以上が年末までに採用内定する。進学希望者については、十分な学校研究を行わせ、出願した大学等に全員合格する。	総合的な学習の時間やHR活動を通じ、「自己の在り方・生き方」と「将来の職業」との関連を幅広く考えさせる機会を設定し進路に対する意識の高揚を図ります。また、企業等職業人などの外部講師による進路ガイダンスを開き、進路実現に向けての心構えを育成します。 5月に教職員による企業等訪問を実施し情報を収集します。大学・看護系進学希望者には進学対策の補講を実施します。	A	A	基本的な生活習慣の確立を図ることで欠席、遅刻、早退を未然防止に力を入れます。	B	A	学校生活5カ条の実施状況を確認するために、アンケートの質問事項に加えた結果、多くの生徒が実践していることが分かりました。今後もさらに基本的な生活習慣を確立します。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	12 適切な進路情報を提供していますか。	⑰ 学校からの進路に関する配布物に目を通している保護者が80%以上である。 ⑱ 進路の手引きや進路だよりの情報に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	保護者会などで適切な資料を配付します。また、進路に関して関心のあることをアンケートで調査して提供資料に反映させます。	B	B	検診後に、検査や治療を行っている生徒が60%程度であり、保護者宛の通知や保健だよりを定期的に発行し、きめ細やかな指導を続けていきます。	B	B	歯科検診において、受診勧告書を受け取った生徒の60%程度は医療機関で受診していますが、治療完了した生徒は25%程度で完治までの指導を継続してまいります。
	13 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 学校行事(PTA総会、学年別保護者会、学習成果発表会、学校公開)に積極的に参加する保護者が60%以上である。	PTA総会や学校公開などの学校行事を休日に実施するなど、保護者が参加しやすい環境を整えます。	A	B	対外試合や校外発表などの機会を増やし、目標を持たせることで、生徒のやる気を奮起させます。	A	A	「より多くの部活動を活性化させ、前向きな生徒を増やし、学校全体の明るい雰囲気作りにつなげます。」
	14 家庭、地域社会に貢献できる活動を行っていますか。	⑳ 学校の施設開放や、地域ボランティア活動に、生徒・保護者の80%が満足している。	年2回のファームフェスティバルの他、地域ボランティア活動や地域交流、もの作り貢献などコースの特徴を考えた活動を実施します。	A	A	外部講師による進路ガイダンスを計画・実施しています。また市民講師セミナーなどを開催し、地域の方の教育力を有効活用して行きます。	A	A	外部講師によるワークショップ型セミナーや校内の進路状況などの説明会などを今後も継続して行い、個々の生徒の進路希望に応じた具体的なサポートを行います。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	13 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 学校行事(PTA総会、学年別保護者会、学習成果発表会、学校公開)に積極的に参加する保護者が60%以上である。	PTA総会や学校公開などの学校行事を休日に実施するなど、保護者が参加しやすい環境を整えます。	A	B	保護者の参加率はPTA総会などは67.3%と目標は超えています。学校公開などへ参加が50%ほどであり、広報を充実させて参加率の向上を図ります。また、保護者が参加して良かったと感じられるように、魅力ある内容を計画します。	B	B	職員による企業訪問を継続し、情報収集及び情報発信を今後も継続して行います。 公務員や医療系、大学進学を希望する生徒への早期情報提供を行い、外部模試や対策セミナー等の活用を図ります。
	14 家庭、地域社会に貢献できる活動を行っていますか。	⑳ 学校の施設開放や、地域ボランティア活動に、生徒・保護者の80%が満足している。	年2回のファームフェスティバルの他、地域ボランティア活動や地域交流、もの作り貢献などコースの特徴を考えた活動を実施します。	A	A	本校で実施しているファームフェスティバルや校外販売活動を知っている保護者が95.1%と高く、この取り組みが多くの保護者に伝わっていることから、今後も、地域清掃ボランティアや学校開放講座を計画的に実施し、継続的に取り組んで行きます。	A	A	進路の手引きの全校配布や進路だよりをタイムリーに発行し、進路状況の発信をしていきます。 進路に関する配布物に目を通している割合が全校で77.9%であり、学校ホームページでの広報やオクレンジャーによる発行通知を行います。

羅 針 盤			方 策	達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評価対象	評 価 項 目	具体的数値項目		①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 学系別くり募集を導入し、生徒のニーズに対応した教育を実践していますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	希望するコースに進めるよう、入学時からアンケートや個人面談等を実施し、きめ細かい指導を繰り返し行うことにより目標をしっかりと定めて学校生活を送れるようにします。	A	A	A	多くの生徒が、自分の専門を生かした地域貢献や研究を重ねて多くの成果を上げることができ、大きく成長する姿が見られました。学習成果発表会では、自分の学びをまとめ、わかりやすく発表する姿が見られました。様々な教育活動の趣旨をきちんと説明して取り組み、自分の学びとして受け止めて成長できるような指導を心がけます。	利根実との連携で「えだまメンチ」や「マイコンカー」といった出前授業などや学習成果発表会では、生徒が説明や発表をしてみたい、生徒が自信をもって発表しており、自己肯定感が高まっている。非常に良い取り組みです。	引き続き生徒が地域貢献や資格取得、研究発表など自分の頑張りが評価されるような取り組みを取り入れた行きます。今後は、様々な教育活動の趣旨をきちんと説明して取り組み、自分の学びとして受け止めて成長できるような指導を心がけます。
	2 生徒の主体的な学びを引き出す特色ある教育活動を行っていますか。	② 学系、コースの教育活動(ボランティア活動や郊外清掃活動などの奉仕作業を含む)に対して、主体的に取り組めたと自己評価する生徒が80%以上である。 ③ 生徒が学習や研究の成果を発表できる機会を年1回以上設定し、それらの活動に達成感を持つ生徒が80%以上である。	地域社会の行事に積極的に参加させ、地域とかかわることにより、課題を見つけ出させ、解決方法を考えさせ、解決に結びつけます。 学習成果発表会や、課題研究発表会などを全校で実施し、かつ、校外の発表会などにも積極的に参加させ、生徒のプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高めるよう支援します。	A	A	B			
	3 主体的な進路選択を実施するために、進路セミナーや職場見学を積極的に取り入れていますか。	④ 進路セミナーや企業又は上級学校の見学を実施し、進路意識が高まったと感じる生徒が80%以上である。	企業見学や学校見学を有効なものとするために、見学のための事前指導を行い、見学のポイントやワークシートなどを提供します。また、外部講師による進路セミナー等を実施し、進路意識の高揚をはかります。	A	A	A			
	4 地元企業や地域と連携し学校外実習や体験学習を積極的に実施していますか。	⑤ 利根実版デュアルシステムや、長期現場実習、小中学校との交流活動・出前授業などに満足感を持つ生徒が80%以上である。	地域との連携を図り企業実習や農家実習を行います。また、地域の幼小中学校や特別支援学校等と交流を深め、德育教育への取り組みや言語活動を意図的・計画的に取り入れていきます。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	5 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	⑥ 授業が理解でき、学習に対する満足感・達成感を持つ生徒が80%以上である。 ⑦ 日頃より、予習や復習に取り組む生徒が50%以上である。	多くの普通科目において、習熟度別学習、少人数学習、選択学習を導入し、生徒一人ひとりに指導の手が入りやすい授業を行います。また、授業展開で生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面を多く設定します。 学び直し学習や、学期ごとの基礎学力テストなどの企画・設定などにより、日頃から学習する習慣や態度を養います。	A	A	A	アクティブラーニングやICTを活用した授業改善についての職員研修を重ね、わかりやすく、生徒が主体的に取り組む授業の工夫がされ、生徒が積極的に授業に取り組むようになってきました。一方で、家庭学習については、まだ十分とは言えない生徒もいます。	利根実でも進学希望者を対象にした進学補習を5教科で実施してほしい。事務系や看護系では数学の力が必要で、授業時間だけでは物足りないと思います。	アクティブラーニングについての職員研修を重ね、職員にも定着してきました。授業で積極的に取り入れる職員も増えてきました。今後は、授業公開日などを利用して、保護者に対しても積極的にアピールして、興味関心をもってもらえるよう工夫していきます。 家庭学習の定着を図るよう、まずは補習など授業時間外での学習習慣を身に付けられるよう取り組んでいきます。
	6 資格取得に積極的に取り組んでいますか。	⑧ 各種検定や、資格取得に取り組む生徒が全校生徒の80%以上である。	必須で検定に取り組んだり、積極的に受検者を募集し必要に応じ補習や補講を計画し合格への支援を行います。	A	A	A			
	7 組織的・継続的な生徒指導を行っていますか。	⑨ 問題行動で指導される生徒が前年度比の50%以下である。 ⑩ 不登校や転学者、退学者が前年比の50%以下である。 ⑪ いじめ発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	週1回の学年会議、月1回の生徒指導会議を開催し、生徒の情報を共有し職員の共通理解を図つたうえで、一人ひとりの生徒に対応した段階的な指導を実施します。頭髪・服装指導は学年団を中心に徹底指導します。また、挨拶・身だしなみ・遅刻指導を中心に毎朝校門指導を実施し、改善が必要な生徒にはその場で指導します。 学習活動や学校行事、部活動等の一層の活性化を図り、生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面をより多く設定します。また、特別支援及び教育相談係の会議を定例化し生徒の情報を共有するとともに、特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを中心に問題を抱えた生徒を支援する体制を強化します。 いじめ防止対策係を中心に、いじめ問題の未然防止、早期発見・解消に向けて組織的に取り組みます。	B	A	A			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	8 生徒は規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫ 1カ年皆勤者が生徒数の40%以上である。	家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立を図ることで欠席、遅刻、早退を減少させます。	A	A	A	本年度も「あいさつ、清掃、整理整頓、身だしなみ、時間厳守」を生活目標に継続的な指導を行いました。多くの先生方の協力により、問題行動件数は昨年度に比べ減少しました。 特別支援教育や教育相談に関しては、確実に充実してきています。「不登校等対策委員会」をはじめとした情報交換を大切に、早期の対応を徹底しています。 学校全体として多くの部活動を活発にする必要性を感じています。しかし、一部の部活動に頼っている様子も窺われることが現状と思われます。	いじめについては、冷やかしかからかいを見逃さないことが大切です。それら小さいことでも把握していることが大事であり、その把握に尽力しているところが本校の素晴らしいところです。また、あいさつがすばらしいと感じています。特に野球部の生徒のあいさつがとても良く気持ちが良いです。一方で学校周辺で身だしなみを整えないで下校している生徒を見かけます。地域に根ざした利根実業高校としては一層の規範意識の向上を図るよう指導をお願いします。	各系、科、コースの特色を活かし、生徒が主体的に活動できる授業づくりをめざし、校内技術検定の導入や資格取得補習等の実施等を効率化を進めてきました。また、農業系と工業系の連携から、それぞれ専門性が一層高められる協力的体制が構築され、各種大会や資格取得等に大きな成果を上げることができました。来年度も、更に企業と地域との連携を強めていける取り組みを実施し、生徒の社会性や人間性を磨き、進路意識を高めていきます。 地域周辺の店舗には定期的に訪問し様子を伺っており、生徒へのマナー指導を行っています。また、全校集会等で生徒に注意を促したり、地域の信頼を損ねないように指導しています。今後も、外部の方からの連絡に感謝し、生徒達が地域の方々から信頼されるよう適切な指導を行います。
	9 生徒の健康状態に対する適切な指導を行っていますか。	⑬ 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査を受ける生徒が50%以上である。	各種検診の終了後、速やかに保護者あてに受診のすすめを配布し、生徒の受診を促します。	B	B	B			
	10 充実した部活動が行われていますか。	⑭ 部活動に加入している生徒が80%以上で、その活動に満足している生徒が80%以上である。	掲示板の設置等で部員の増加に努め、週1回「部活動の日」を設け、職員が部活指導しやすい体制づくりに努めます。	B	B	B			
	11 3カ年を通して系統的で計画的な指導を行い、生徒の希望に則した進路実現が実現しましたか。	⑮ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。 ⑯ 就職希望者の90%以上が年末までに採用内定する。進学希望者については、十分な学校研究を行わせ、出願した大学等に全員合格する。	総合的な学習の時間やHR活動を通じ、「自己の在り方・生き方」と「将来の職業」との関連を幅広く考えさせる機会を設定し進路に対する意識の高揚を図ります。また、企業等職業人などの外部講師による進路ガイダンスを開き、進路実現に向けての心構えを育成します。 5月に教職員による企業等訪問を実施し情報を収集します。大学・看護系進学希望者には進学対策の補講を実施します。	A	A	A			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	12 適切な進路情報を提供していますか。	⑰ 学校からの進路に関する配布物に目を通して保護者が80%以上である。 ⑱ 進路の手引きや進路だよりの情報に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	保護者会などで適切な資料を配付します。また、進路に関して関心のあることをアンケートで調査して提供資料に反映させます。 就職や進学の最新の状況、学校での進路行事の様子などを進路だよりとして提供します。	B	B	B	3年生は、進路実現に向けて積極的に取り組む姿勢が見られました。求人状況も良く、就職希望者は早い段階で内定しました。 公務員は1名(専門技術職)のみの内定であり、一般事務職は倍率が高く内定を得ることが出来ませんでした。又、今年度は進学希望者も多かったのですが、推薦やAOなどで受験し、合格しました。その中で、進学合格後に就職希望に変更した数名について進路決定が後れ、2月以降に就職活動を行うなど、個別の対応となりました。 1・2年生は、例年以上に進路への関心が高く感じられ、各種進路セミナーへの取り組みなども良い状況です。	進路についても、充実していると感じました。特に2年生が主体的に活動を始めているということであり、それをさらに促して欲しいです。 一方で、就職応募方法など、全員の保護者が理解しきれない部分も有り、学校公開日などに合わせ、進路室の公開や説明を検討すると良いと考えます。	3年間を通じた体系的で計画的な指導を行っています。3年生が主体的に活動を開始していることと合わせ、より具体的な進路決定が、より早く出来るように、1・2年生の進路ガイダンス等を計画、運営していきます。 保護者への進路情報も、より多く届くように発信方法などの工夫を図っていきます。特に、進学費用や、就職における運転免許取得等の費用面についても情報発信をして行きます。また、その結果として家庭での進路の話合いが活発になり、面談等が充実することを期待します。
	13 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 学校行事(PTA総会、学年別保護者会、学習成果発表会、学校公開)に積極的に参加する保護者が60%以上である。	PTA総会や学校公開などの学校行事を休日に実施するなど、保護者が参加しやすい環境を整えます。	A	B	B			
	14 家庭、地域社会に貢献できる活動をしていますか。	⑳ 学校の施設開放や、地域ボランティア活動に、生徒・保護者の80%が満足している。	年2回のファームフェスティバルの他、地域ボランティア活動や地域交流、もの作り貢献などコースの特徴を考えた活動を実施します。	A	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	13 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 学校行事(PTA総会、学年別保護者会、学習成果発表会、学校公開)に積極的に参加する保護者が60%以上である。	PTA総会や学校公開などの学校行事を休日に実施するなど、保護者が参加しやすい環境を整えます。	A	B	B	学校行事には都合が合わず、なかなか出席できないという答えもあります。また、体育的行事の見学など、参観できる行事を増やしてほしいなどの意見もあります。さらに、HPに行事予定や部活動の様子・進路情報なども掲載してほしい等の要望もあり、これらに対応することがよいと考えます。	今後は、生徒のアクティブラーニングなどの協働学習の取組を積極的にアピールするなど、授業に対する保護者の興味関心を高め、参加率を上げていきます。また、ファームフェスティバルや校外販売活動は、保護者の評価も高く、それ故の要望もあります。販売時間や販売方法を工夫し、さらに参加率を高めます。	
14 家庭、地域社会に貢献できる活動をしていますか。	⑳ 学校の施設開放や、地域ボランティア活動に、生徒・保護者の80%が満足している。	年2回のファームフェスティバルの他、地域ボランティア活動や地域交流、もの作り貢献などコースの特徴を考えた活動を実施します。	A	A	A				